

Ⅲ. 「観点」ごとの自己評価

観点1. 建学の精神・大学の基本理念及び使命・目的

1-1. 建学の精神・大学の基本理念が学内外に示されていること。

(1) 1-1の事実の説明(現状)

1-1-① 建学の精神・大学の基本理念が学内外に示されているか。

- ・ 建学の精神及び大学の基本理念は太成学院大学ホームページ (<http://www.tgu.ac.jp/>) に公表している。
- ・ 大学案内パンフレット「太成学院大学 大学案内」に明記しており、高等学校や受験生に配布している。
- ・ 学内向けには「学生必携」に明記し、新入生オリエンテーションで学生に配布し、説明している。また、建学の精神は足立記念館1階ロビーの壁にも彫っている。
- ・ 教職員には、新年互礼会で理事長学長より示される。
- ・ 保護者には、入学宣誓式後に行う保護者ガイダンスで説明を行っている。

(2) 1-1の自己評価

建学の精神・大学の基本理念を学内外に伝えるために、入学宣誓式で理事長・学長より示しており、特に新入生には、新入生オリエンテーションで建学の精神「教育は徳なり」を示し、職員には新年互礼会で示し、周知する努力を行うなど、様々な方策を講じていると評価できる。

(3) 1-1の改善・向上方策(将来計画)

受験生にはオープンキャンパス、高校訪問、進学相談会等でその趣旨を、又、新入生を中心に周知を行っているが、在学生にも継続的に春学期・秋学期のオリエンテーション等で建学の精神・大学の基本理念を周知徹底させる。なお、職員には特に採用時において十分な説明を行う。

1-2. 大学の使命・目的が明確に定められ、かつ学内外に周知されていること。

(1) 1-2の事実の説明(現状)

1-2-① 建学の精神・大学の基本理念を踏まえた、大学の使命・目的が明確に定められているか。

Iの「2. 使命と目的」で述べたように、建学の精神・大学の基本理念を踏まえた大学の使命と目的は、学則に規定されている。

1-2-② 大学の使命・目的が学生及び教職員に周知されているか。

人材養成目的及び教育目標等は、大学案内パンフレット「太成学院大学 大学案内」や「学生必携」、太成学院大学ホームページに掲載している。人材養成目的については、学期

はじめのオリエンテーションごとに再確認している。「学生必携」に明記し、毎年、新入生と教職員に配布することにより周知している。教職員には、新年互礼会で理事長学長より年頭の話の中でも示され、周知している。

1-2-③ 大学の使命・目的が学外に公表されているか。

- ・ 建学の精神と同様に大学の使命・目的を太成学院大学ホームページ (<http://www.tgu.ac.jp/>) に公表している。
- ・ 大学案内パンフレット「太成学院大学 大学案内」に明記しており、高等学校や受験生に配布している。
- ・ 保護者には、入学宣誓式後の保護者ガイダンスで周知している。

(2) 1-2の自己評価

すでに述べたように、建学の精神・大学の基本理念を踏まえた大学の使命と目的は、建学の精神・大学の基本理念と同様に、学内外に伝えるために、入学宣誓式で理事長・学長より示しており、特に新入生には、新入生オリエンテーションでも示し、職員には新年互礼会で示すなど、周知する努力を行うことで、様々な方策を講じていると評価できる。

(3) 1-2の改善・向上方策（将来計画）

大学の使命と目的の学外への公表・周知については、より徹底した理解・認識されるべく、様々な機会を通して周知徹底させる。具体的には説明の機会を増やすだけでなく、使命と目的をわかりやすく伝える資料や説明方法について、大学運営会議や教授会で継続して検討・改善を行う。

【観点1の自己評価】

建学の精神・大学の基本理念と、それに基づく大学の使命と目的を学内外に伝えるために、様々な方策を講じてきたと評価できる。

【観点1の改善・向上方策（将来計画）】

上記のように、建学の精神・大学の基本理念や大学の使命と目的等の学内的な周知については、学期はじめのオリエンテーションでの説明内容の検討・改善を継続的に検討して教職員の理解・認識の向上を図る。説明の機会を増やすだけでなく、学内外への公表・周知の方策を今以上に向上させるべく、分かりやすい資料作成や説明方法について大学運営会議や教授会で継続して審議検討・改善を行う。